

🐦 twitter で 49,000 リツイート! もはや社会現象!

新学習指導要領対応

日本一楽しい漢字ドリル /

# うんこ かんじ 漢字ドリル

教育  
革命!



3018例文すべてに「うんこ」を使った、まったく新しい漢字ドリル



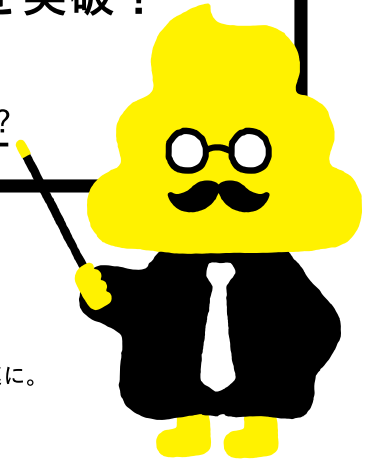
わずか2ヶ月で **266** 万部を突破!

いま、日本で一番売れている書籍  
『うんこ漢字ドリル』の人気の秘密とは?

株式会社文響社(東京都港区)が2017年3月24日に発売した『日本一楽しい漢字ドリル うんこ漢字ドリル』が、全国的に売上を伸ばし、爆発的なヒットを記録しています。勢いはとどまることを知らず、「オリコン週間“本”ランキング」のランクイン常連に。北海道旭川市の小学校でも採用されるなど、いま、多方面で注目されています。

## おかげさまで、話題沸騰中

- ・発行部数 累計266万3,000部
- ・発売日 2017年3月24日
- ・オリコン週間“本”ランキングで4週連続1位(5月29日、6月5日、12日、19日付)
- ・ “ ” 6週連続、全6作同時トップ10入り(5月15日、22日、29日、6月5日、12日、19日付)  
<http://www.oricon.co.jp/rank/ob/w/2017-06-05/>
- ・日販、学参ジャンルランキング6週連続1~6位独占(4月24日~6月12日)



## 本当に学習効果はあるの？

実際に「1日で1冊全部やりきっちゃった」と言ってくれた小学3年生の女の子に聞いてみたところ、下記のように答えてくれました。

Q 「本当に、これでテストの点数良くなった？」

A 「テストのときに、例文思い出したから漢字も書けた」

例文があまりにもおもしろいので覚えてしまい、  
ついでに漢字も覚えてしまった、ということのようでした。

## SNSでも絶賛の声続出!

発売当初からツイッター、インスタグラムを中心に『うんこ漢字ドリル』に関する投稿が続出しています！「普段は勉強嫌いのウチの子が、『うんこ漢字ドリル』をやり始めてから自発的に勉強するようになった」という類の投稿も数多く見られ、さらには親御さんからの「例文を見て子どもたちと一緒に爆笑している」という投稿も多く見られます。また、「『うんこ漢字ドリル』のおかげで家族の会話が増えた」とのお声も頂戴しており、はからずも家族団らんに一役買う結果となりました。

お子さんのみならず、大人のみなさまにも楽しんでいただけるドリルとなっています。  
どれだけ歳を重ねようとも、「うんこ」という言葉は  
我々人類を笑顔にしてくれる魔法の言葉なのかもしれません。

## SNSに上がった声

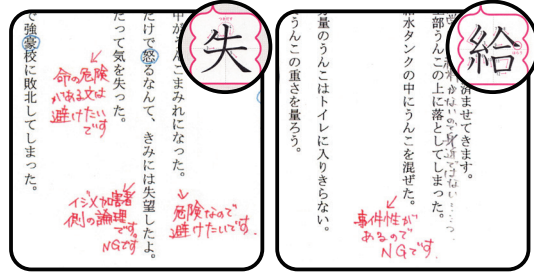
「国語嫌いな娘にうんこ漢字ドリルを買い与えたら  
驚く程自主的に勉強している…  
起きてすぐドリルはじめた…すごい…」

「ムスメの春休み勉強用に『うんこ漢字ドリル』買ったんだけど  
想像の15歩くらい先を行ってた。買ってよかった」

「例文が面白すぎる!!! うちの息子は激しい性格のタイプではないので、  
汚い言葉とかは普段言わないし、外へ出かけた時に  
公衆トイレが汚れていたりすると入れない…というような感じだったりするので、  
このドリルには興味を示さないかと思っていたのですが…大爆笑!!  
あまりの例文の面白さに私も久しぶりに大爆笑!  
大人になって「うんこ」でこんなに笑うことになるなんて思ってもいませんでした」

## うんこだけど、こんなに真剣に作っています

『うんこ漢字ドリル』が発売にいたるまで、  
じつは企画から2年以上の歳月を費やしています。  
その間、さまざまな試行錯誤を重ねました。  
漢字ドリルのプロ監修のもと、  
5000を超える例文すべてを慎重にチェックし、  
いじめにつながったり、  
人を傷つけたりするような例文は削除しました。



そうやって吟味に吟味を重ねることで、  
最も適した3018例文をピックアップしました。



過去にはこんな試作品もありました。  
「ツノ」の向きや、底の丸みを帯びたフォルムにまで  
こだわって型まで作ったのですが、  
書きづらさやコスト面などいろいろと考慮して、  
結局幻となりました…。

## じつはこんな秘密も…!

じつは、学年をまたいで、同じ登場人物が出てきています。  
ひっそりと「冒険家」の物語が展開されていて、  
「スタントマン」「体育の先生」なども例文にたびたび出てきます。  
学年を超えて登場する彼らの活躍にもぜひご注目ください。

うんこ大陸に行った冒険家からの  
連絡が来た。

ぼう険家が、北極のくまのうんこを  
取ろうとしておそわれている。

うんこ島に行ったぼうけん家の、  
生きたうんこを分けたできごと。



書店で開催されたイベントでは、  
お子さんみずから  
「うんこ例文」を作ってくれました。  
思わずうなってしまう、哲学的な例文ですね。

